



## アプリケーション ユーザの設定

Cisco Unified Presence Server の管理ページでアプリケーション ユーザの設定のウィンドウを使用すると、管理者は、Cisco Unified Presence Server アプリケーション ユーザに関する情報の追加、検索、表示、および保守を行うことができます。

次のトピックには、アプリケーション ユーザ情報の管理に関する情報が含まれています。

- [アプリケーション ユーザの検索 \(P.36-2\)](#)
- [アプリケーション ユーザの追加 \(P.36-4\)](#)
- [アプリケーション ユーザの設定値 \(P.36-5\)](#)
- [アプリケーション ユーザ パスワードの変更 \(P.36-9\)](#)
- [アプリケーション ユーザのアプリケーション プロファイルの設定 \(P.36-9\)](#)
- [デバイスとアプリケーション ユーザの関連付け \(P.36-10\)](#)

### 追加情報

[P.36-11](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## アプリケーションユーザの検索

ネットワークにアプリケーションユーザが複数存在する場合があります。Cisco Unified Presence Server では、具体的な検索条件に基づいて特定のアプリケーションユーザを検索することができます。特定のアプリケーションユーザを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、Cisco Unified Presence Server の管理ページにより、アプリケーションユーザ検索の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻ると、検索の設定を変更するか、またはブラウザを閉じるまで、アプリケーションユーザ検索の設定が維持されます。

### 手順

**ステップ 1** [ユーザ管理] > [アプリケーションユーザ] の順に選択します。

[アプリケーションユーザの検索と一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウンリストボックスを使用してアプリケーションユーザを検索します。

**ステップ 2** [アプリケーションユーザの検索と一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウの最初のドロップダウンリストボックスから、次の検索条件を選択します。

- ユーザ ID

[アプリケーションユーザの検索と一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウの 2 番目のドロップダウンリストボックスから、次のいずれかの検索条件を選択します。

- が次の文字列で始まる
- が次の文字列を含む
- が次の文字列と等しい
- が次の文字列で終わる
- が空である
- が空ではない

**ステップ 3** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、[検索] をクリックします。ページ単位で表示するアイテム数を指定することも可能です。



ヒント

データベースに登録されているすべてのアプリケーションユーザを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索] をクリックします。

検出されたアプリケーションユーザのリストが次の基準で表示されます。

- ユーザ ID (User ID)



(注) 対象のアプリケーションユーザの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のアプリケーションユーザを [アプリケーションユーザの検索と一覧表示] ウィンドウから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、デフォルトのアプリケーションユーザを除くすべてのアプリケーションユーザをウィンドウから削除できます。

**ステップ 4** レコードのリストから、検索条件に一致するアプリケーションユーザ名をクリックします。

選択したアプリケーションユーザがウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.36-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## アプリケーションユーザの追加

ユーザを追加するには、次の手順に従います。



(注)

Cisco Unity Administrator または Cisco Unity Connection Administrator のアプリケーションユーザを追加する場合は、Cisco Unity Administration と Cisco Unity Connection Administration で定義したものと同一ユーザ名とパスワードを使用する必要があります。『Cisco Unified CallManager 5.0 Integration Guide for Cisco Unity 4.0』または『Cisco Unified CallManager 5.0 SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection 2.1』を参照してください。ユーザ ID により、Cisco Unity または Cisco Unity Connection と Cisco Unified Presence Server の管理ページの間の認証が行われます。

### 手順

**ステップ 1** [ユーザ管理] > [アプリケーションユーザ] の順に選択します。

[アプリケーションユーザの検索と一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウンリスト ボックスを使用してアプリケーションユーザを検索します。

**ステップ 2** [新規追加] をクリックします。

[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** 表 36-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

**ステップ 4** ユーザ情報を入力したら、[保存] をクリックして変更を保存し、ユーザを追加します。

### 次の手順

デバイスをアプリケーションユーザと関連付ける場合は、「[デバイスとアプリケーションユーザの関連付け](#)」の手順に従って作業を続けます。

### 追加情報

P.36-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## アプリケーションユーザの設定値

表 36-1 で、アプリケーションユーザの設定値について説明します。関連する手順については、P.36-11 の「関連項目」を参照してください。

表 36-1 アプリケーションユーザの設定値


フィールド	説明
<b>アプリケーションユーザ情報 (Application User Information)</b>	
ユーザ ID(User ID)	アプリケーションユーザの識別名を入力します。Cisco Unified Presence Server では、ユーザ ID を作成後に変更することはできません。使用できる特殊文字は、ダッシュ (-)、アンダースコア (_)、二重引用符 (") および空白文字です。
パスワード (Password)	英数字または特殊文字を使って 5 文字以上のアプリケーションユーザパスワードを入力します。
パスワードの確認 (Confirm Password)	ユーザパスワードを再入力します。
ダイジェスト信用証明書 (Digest Credentials)	ダイジェスト認証中に Cisco Unified Presence Server を UAS として動作させる場合、このフィールドで指定するダイジェスト信用証明書をチャレンジに使用します。英数字の文字列を入力します。  ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』を参照してください。
ダイジェスト信用証明書の確認 (Confirm Digest Credentials)	ダイジェスト信用証明書の入力正しいことを確認するために、このフィールドに再度信用証明書を入力します。
プレゼンスグループ (Presence Group)	<p>プレゼンス機能を使用してこのフィールドを設定します。</p> <p> (注) プレゼンス情報を持つアプリケーションユーザを使用しない場合、プレゼンスグループをデフォルト設定 (なし) のままにしておきます。</p> <hr/> <p>ドロップダウンリストボックスから、アプリケーションユーザの [プレゼンスグループ (Presence Group)] を選択します。選択したグループにより、IPMASysUser などのアプリケーションユーザが監視する対象が指定されます。</p> <p>インストール時は、Standard Presence group が設定されています。Cisco Unified CallManager の管理ページで設定したプレゼンスグループも、ドロップダウンリストボックスに表示されます。</p> <p>プレゼンス認可は、プレゼンスグループと連携し、グループ間でのプレゼンス要求を許可または拒否します。グループ間の権限設定の詳細については、『Cisco Unified CallManager 機能およびサービスガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>

表 36-1 アプリケーションユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
プレゼンス登録の許可 (Accept Presence Subscription)	<p>このフィールドでは、プレゼンス認可用のプレゼンス機能を設定します。</p> <p>トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] でアプリケーションレベルの認可を有効にしている場合、Cisco Unified Presence Server でアプリケーションレベルの認可が実行されます。</p> <p>Cisco Unified Presence Server で、この SIP トランク アプリケーションユーザのプレゼンス要求の受け入れを許可するには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウでこのチェックボックスをオンにしている、トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] チェックボックスをオフにしている場合、Cisco Unified Presence Server からこのトランクに接続される SIP ユーザエージェントに 403 エラーメッセージが送信されます。</p> <p>認可の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>
アウトオブダイアログ REFER の許可 (Accept Out-of-Dialog REFER)	<p>トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] でアプリケーションレベルの認可を有効にしている場合、Cisco Unified Presence Server でアプリケーションレベルの認可が実行されます。</p> <p>Cisco Unified Presence Server で、この SIP トランク アプリケーションユーザからのアウトオブダイアログ REFER の受け入れを認可するには、このチェックボックスをオンにします。たとえば、SIP が開始側となる転送機能や他の高度な転送機能を使用するには、Cisco Unified Presence Server にこのアプリケーションユーザのアウトオブダイアログ REFER の受け入れを認可する必要があります。</p> <p>[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウでこのチェックボックスをオンにしている、トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] チェックボックスをオフにしている場合、Cisco Unified Presence Server からこのトランクに接続される SIP ユーザエージェントに 403 エラーメッセージが送信されます。</p> <p>認可の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』を参照してください。</p>

表 36-1 アプリケーションユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
未承諾 NOTIFY の許可 (Accept Unsolicited Notification)	<p>トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] でアプリケーション レベルの認可を有効にしている場合、Cisco Unified Presence Server でアプリケーション レベルの認可が実行されます。</p> <p>Cisco Unified Presence Server で、この SIP トランク アプリケーション ユーザからの未承諾 NOTIFY の受け入れを認可するには、このチェックボックスをオンにします。たとえば、MWI をサポートする場合、Cisco Unified Presence Server でこのアプリケーション ユーザの未承諾 NOTIFY の受け入れを認可する必要があります。</p> <p>[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウでこのチェックボックスをオンにしている、トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] チェックボックスをオフにしている場合、Cisco Unified Presence Server からこのトランクに接続される SIP ユーザ エージェントに 403 エラーメッセージが送信されます。</p> <p>認可の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』を参照してください。</p>
REPLACE ヘッダの許可 (Accept Replaces Header)	<p>トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] でアプリケーション レベルの認可を有効にしている場合、Cisco Unified Presence Server でアプリケーション レベルの認可が実行されます。</p> <p>Cisco Unified Presence Server で、この SIP トランク アプリケーション ユーザからのメッセージのヘッダー置換の受け入れを認可するには、このチェックボックスをオンにします。たとえば、在席転送の場合と同様に、SIP トランクの外線コールを外部のデバイスまたは相手へ転送する場合、このアプリケーション ユーザの REFER および INVITE に REPLACE ヘッダーを含む SIP 要求を Cisco Unified Presence Server が受け入れるよう認可する必要があります。</p> <p>[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウでこのチェックボックスをオンにしている、トランクに適用される [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] で [アプリケーションレベル認証を有効化 (Enable Application Level Authorization)] チェックボックスをオフにしている場合、Cisco Unified Presence Server からこのトランクに接続される SIP ユーザ エージェントに 403 エラーメッセージが送信されます。</p> <p>認可の詳細については、『Cisco Unified CallManager セキュリティガイド』を参照してください。</p>

表 36-1 アプリケーションユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
<b>CAPF 情報 (CAPF Information)</b>	
割り当てられている CAPF プロファイル (Associated CAPF Profiles)	<p>[割り当てられている CAPF プロファイル (Associated CAPF Profiles)] ペインに、アプリケーションユーザ CAPF プロファイルのインスタンス ID が表示されます。これは、そのユーザのアプリケーションユーザ CAPF プロファイルが設定されたことを意味します。プロファイルを編集するには、インスタンス ID をクリックしてから <b>[プロファイルの編集]</b> をクリックします。[アプリケーションユーザ CAPF プロファイルの設定 (Application User CAPF Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。</p> <p>アプリケーションユーザ CAPF プロファイルの設定方法については、『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
<b>デバイス情報 (Device Information)</b>	
使用可能なデバイス (Available Devices)	<p>このリスト ボックスには、このアプリケーションユーザとの関連付けに使用できるデバイスが表示されます。</p> <p>このアプリケーションユーザとデバイスを関連付けるには、デバイスをクリックし、リスト ボックスの下にある下向きの矢印をクリックします。</p> <p>このアプリケーションユーザと関連付けるデバイスがペインに表示されていない場合、次のいずれかのボタンをクリックして他のデバイスを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[別の電話を検索]</b> : このボタンをクリックすると、このアプリケーションユーザと関連付ける別の電話機を検索できます。[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示され、電話機の検索が可能になります。</li> <li>• <b>[別のルートポイントを検索]</b> : このボタンをクリックすると、このアプリケーションユーザと関連付ける別のルートポイントを検索できます。[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示され、CTI ルートポイントの検索が可能になります。</li> <li>• <b>[別のパイロットポイントを検索]</b> : このボタンをクリックすると、このアプリケーションユーザと関連付ける別のパイロットポイントを検索できます。[パイロットポイントの検索と一覧表示 (Find and List Pilot Points)] ウィンドウが表示され、パイロットポイントの検索が可能になります。</li> </ul>
<b>権限情報 (Permissions Information)</b>	
グループ (Groups)	アプリケーションユーザの追加後、このリスト ボックスが表示されます。このリスト ボックスには、アプリケーションユーザが属するグループが表示されます。
権限 (Roles)	アプリケーションユーザの追加後、このリスト ボックスが表示されます。このリスト ボックスには、アプリケーションユーザに割り当てられるロールが表示されます。

**追加情報**

P.36-11 の「関連項目」を参照してください。



## アプリケーションユーザパスワードの変更

アプリケーションユーザパスワードを変更するには、次の手順に従います。

### 手順

---

**ステップ 1** P.36-2 の「[アプリケーションユーザの検索](#)」の手順に従い、パスワードを変更するアプリケーションユーザを検索します。

[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウに、選択したアプリケーションユーザに関する情報が表示されます。

**ステップ 2** [パスワード (Password)] フィールドで、暗号化されている既存のパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードを入力します。

**ステップ 3** [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドで、暗号化されている既存のパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードを再入力します。

**ステップ 4** [保存] をクリックします。

---

### 追加情報

P.36-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## アプリケーションユーザのアプリケーション プロファイルの設定

新しいアプリケーションユーザを追加後、各アプリケーションのプロファイルを設定できます。これらのプロファイルにより、各アプリケーションユーザは、電話機の機能、Cisco Unified CM Assistant、Cisco エクステンション モビリティ、Cisco Unified CallManager AutoAttendant、および Cisco IP SoftPhone の機能をカスタマイズできます。

### 開始する前に

データベースにアプリケーションユーザが存在することを確認します。詳細については、P.36-2 の「[アプリケーションユーザの検索](#)」を参照してください。

### 追加情報

P.36-11 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## デバイスとアプリケーションユーザの関連付け

デバイスと、そのデバイスを制御するアプリケーションユーザを関連付けることができます。アプリケーションユーザは、電話機などの一部のデバイスを制御できます。ユーザとして識別されたアプリケーションでは、CTI ポートなどの他のデバイスを制御できます。アプリケーションユーザが電話機を制御する場合、そのユーザは、短縮ダイヤルやコールの転送など、電話機の特定の設定を制御できます。

### 開始する前に

デバイスをアプリケーションユーザに割り当てるには、そのユーザの [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウにアクセスする必要があります。既存のアプリケーションユーザの検索方法については、P.36-2 の「[アプリケーションユーザの検索](#)」を参照してください。[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示されたら、次の手順に従ってデバイスを割り当てます。

### 手順

- 
- ステップ 1** [使用可能なデバイス (Available Devices)] リスト ボックスで、アプリケーションユーザに関連付けるデバイスを選択し、リスト ボックスの下にある下向きの矢印をクリックします。
- ステップ 2** 使用可能なデバイスのリストを制限するには、[別の電話を検索]、[別のルートポイントを検索] または [別のパイロットポイントを検索] ボタンのいずれかをクリックします。
- [別の電話を検索] ボタンをクリックすると、[電話の検索と一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。検索を実行して、このアプリケーションユーザに関連付ける電話機を検索します。
  - [別のルートポイントを検索] ボタンをクリックすると、[CTI ルートポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。検索を実行して、このアプリケーションユーザに関連付ける CTI ルートポイントを検索します。
  - [別のパイロットポイントを検索] ボタンをクリックすると、[CTI パイロットポイントの検索と一覧表示 (Find and List CTI Pilot Points)] ウィンドウが表示されます。検索を実行して、このアプリケーションユーザに関連付けるパイロットポイントを検索します。
- ステップ 3** アプリケーションユーザに割り当てるデバイスごとに前述の手順を繰り返します。
- ステップ 4** 割り当てが完了したら、[保存] をクリックしてデバイスをアプリケーションに割り当てます。
- 

### 追加情報

[P.36-11 の「関連項目」](#) を参照してください。

## 関連項目

- [アプリケーションユーザの検索 \(P.36-2\)](#)
- [アプリケーションユーザの追加 \(P.36-4\)](#)
- [アプリケーションユーザの設定値 \(P.36-5\)](#)
- [アプリケーションユーザパスワードの変更 \(P.36-9\)](#)
- [アプリケーションユーザのアプリケーションプロファイルの設定 \(P.36-9\)](#)
- [デバイスとアプリケーションユーザの関連付け \(P.36-10\)](#)
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「アプリケーションユーザとエンドユーザ」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「アプリケーションユーザとエンドユーザの設定チェックリストの管理」
- 『Cisco Unified CallManager システム ガイド』の「Cisco Unity メッセージングの統合」
- 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」
- 『Cisco Unified CallManager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」
- 『Cisco Unified CallManager セキュリティ ガイド』

■ 関連項目